

『使命』

～あなたの命どう使う？～

ルカ 14:26～35

あなたは自分の命を何のために使っていますか？将来ほしいものがあるとしたらあなたは何のためにそれがほしいですか？夢や希望、目的を持つことは私たちクリスチャンのテーマです。「信仰と希望と愛」私たちは愛し合い、希望を持った上で信仰（私たちが進むべき道）をしっかりと見つめていなくてはなりません。神からの使命（ローマ 11：29）は 1 人ひとり違い、変わることがありません。「使命」とは「命を使う事」です。あなたは今何の為に自分の命を費やしていますか？今までどうやってあなたの命を費やしてきたのか、何の為に生きてきたのか、それがぼやけている人は使命を見失っている可能性があります。聖書の中で使命を見失った人に、サウル王がいます。イスラエルの王として神様はサウルに油を注ぎました。そして主はサウルに「罪人アマレク人を聖絶せよ。」とサウルに使命を授けました。「アマレク」とは悪魔の象徴です。そのアマレクを主は聖絶せよと言われたのにサウルは聞き従わなかったのです。それどころか、アマレクに勝利した自分を褒め称える為の記念碑まで立ててしまう程、本来の使命を見失っていたのです。サウルは神様から与えられた使命を見失い、自分が王であり続ける為に命を費やしていたのです。その結果サウルは、神様から退けられ、「王に任じたことを悔いる。」とまで言われるような存在になってしまいました。サウルのように自分の使命が自己中心だとあなたの祝福はなくなってしまいます。ですから今日の聖書のルカの福音書には「自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分の命までも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。」（ルカ 14：26）と書かれてあるのです。なぜ自分にとって大切なものを神様は憎めと言われるのでしょうか。私達クリスチャンにとって一番大切な存在は神様です。そして2番目に大切な存在はここに書かれているような自分に関係するものではないのでしょうか。2番目は常に1番目を付狙っています。『自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。』（ヨハネ 12:25）神様はあなたの大切なものを得続ける為に、あえて憎めと言われているのです。あなたの中で2番目にくるものがあなたの使命になるようにしましょう。2番目が神様から与えられた使命ならば神様を超える事がないからです。パウロの使命は教会の欠けた所を補う事でした。命がけて神の愛を余すところなく伝える事でした。（コロサイ 1:24～2:5）クリスチャンの目的は「自分の幸せを通して多くの人に幸せを流す事」です。パウロは自分の使命と目的はいつも繋がっていました。私達もこのようであればなりません。命を良く使う為に①**使命を再確認**。あなたは今幸せですか？今幸せでないのなら、あなたはサウルになっているかもしれません。自分の為に命を費やしているから幸せではないのです。主がサウルになさったように、あなたが神様の言葉を退けていると主もあなたの事を退けるからです。（Iサムエル 15:22,23）パウロがサウルからパウロになって過去の自分が大切にしていたものはイエスキリストを知ったいまでは、それらの全てをちりあくだだと思っていると語っています。（ピリピ 3:5～8）自分に関係する大切なものをパウロのように位置付けしていなければサウルのように的を外してしまいます。サウルのようにしていると、あなたが何かしようとする時、先の事を自分勝手に計算してしまい神様の領域を小さくしてしまいます。そんな計算づくな者を神様は神の働きに用いる事ができず、あなたは退けられてしまいます。（ルカ 14:28～35）あなたには逃げなくても乗り越えられる力が与えられています。②**成ると信じて祈る**。必ず成ると信じていますか？（ヘブル 11：1）信仰は望んでいる事柄を保証するものです。私たちは使命を全うするために信仰による保証が与えられています。この世の常識で考えるのではなく、神の基準による常識を考えていく事が大切です。神様に今自分のしている事が使命にかなっているか確認して下さい。③**油断するな!!!言葉に注意!**「もう大丈夫。」と思っている時こそ悪魔に足をすくわれます。どのようにすくわれるか。それは言葉に注意です。心では信じている事でも口でマイナスの事をポロッとでも発してしまうと、あなたの使命を損なわせてしまいます。ことばは神です。（ヨハネ 1:1）あなたが発した言葉にはどんな言葉でも神の力が働いている権威のある言葉である事を忘れないで下さい。ですから、調子の悪いときや感情的になって決断してしまう言葉には注意しなければならないのです。マイナスの言葉を発してしまうとその言葉はあなたが例え忘れても言葉は生きて働いています。発した言葉には責任があります。もし、あなたのマイナスな言葉によって良くない状況が履行されているのなら今すぐ止めなければなりません。相手に伝えてしまったのなら相手に本意を伝え、真剣に神に悔い改めなければなりません。あなたがサウルにならない為、もう一度3つのポイントを見つめ直しましょう。取り返しのつかなくなる前に！！